

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	白鷹町 (064025)
地域名 (地域内農業集落名)	深山地区 (深山、黒鴨)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	106 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	88 ha
② 田の面積	61 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	45 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	62 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	25 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

地域内の高低差が大きく、平地と比べ相当な労力がかかる中山間地における農業経営は非常に厳しく、新規参入も簡単には進まない。農業者の高齢化が進み担い手不足と耕作放棄地拡大が懸念される。日本型直接支払制度もフル活用しながら、今後も地域全体で貴重な農地の維持、保全に努めて行く必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

平地と比べ生産条件が厳しく深山集落だけでは新たな担い手の参入は見込めないため、外部からの担い手の参入を推進しつつ、まずは現在の中心経営体で担っていく。現状では、水稻を中心とした経営形態が定着しており、この形態を維持していく。直接支払制度等をフル活用しながら、地域と担い手が一体となって農地を維持管理していく。地域での話し合いを行い、継続して耕作できる所とそうでないところをゾーニングし、維持できないところは山へ戻すなど検討していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
中間管理機構への貸付けを基本とし、認定農業者等の担い手に集積・集約化をすすめ、今後はリタイヤ等により希望があれば、受け手の状態を見ながら集約を図っていく。さらに多様な担い手が支障のない範囲の中で農作業を担うなど、協力体制や共同利用機械により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	22.7	%	将来の目標とする集積率
			80 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地面積の維持を図りつつ、目標地図に位置付ける担い手を中心として、耕作条件を見極め効率的な集約により、担い手への集積率拡大に努める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積・集団化の取組
地域計画に位置づけた中心経営体へ集積・集約を進める。今後リタイア等により農用地の貸付希望が出てきた場合は、受け手の状況を見ながら集約をし進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
制度に則した対応が図れるよう担い手への集積・集約化が効率的かつ効果的に出来るよう適宜対応していく。
(3)基盤整備事業への取組
生産性の向上を図るため、地区内の水利施設の整備(暗渠排水・明渠排水等)に取り組む。栗生林(平)を1枚20aになるよう基盤整備を実施効率化を図る。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
新規就農希望者や法人等による参入希望があれば、地域の担い手として確保、育成していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
農作業委託の活用無し。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①町猟友会と連携しながら地域全体でも狩猟免許資格者の増員に取り組む。補助事業を活用した電気柵の維持管理を適切に行う。
- ③リモコン式自動草刈り機等を活用し省力化を図る。
- ⑦日本型直接支払制度を活用し農地の維持管理活動を継続して行っていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
----	-----------------	------	------

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

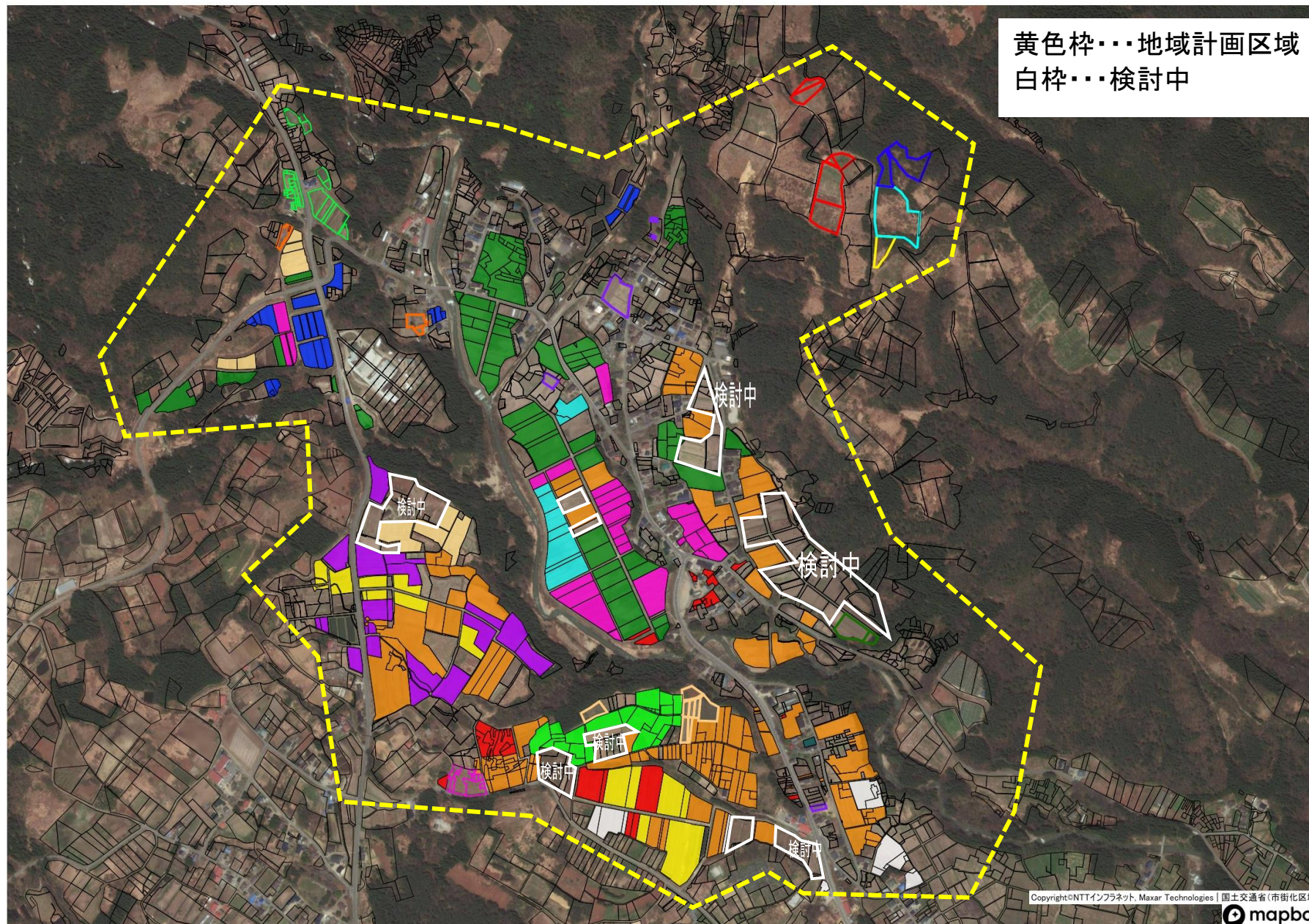
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農		水稲、ホップ	5.7 ha	ha	水稲、ホップ	13.7 ha	ha	オレンジ	
2	認農		水稲、果樹、露地野菜	9.0 ha	ha	水稲、果樹、露地野菜	8.2 ha	ha	緑	
3	認農		水稲	ha	ha	水稲	3.4 ha	ha	紫	
4	利用者		水稲	0.7 ha	ha	水稲	3.3 ha	ha	桃色	
5	認農		水稲、タバコ	0.6 ha	ha	水稲、タバコ	3.0 ha	ha	黄	
6	認農		水稲、露地野菜、花	1.9 ha	ha	水稲、露地野菜、花	1.9 ha	ha	黄緑	
7	利用者		水稲	1.6 ha	ha	水稲	1.7 ha	ha	赤	
8	認農		水稲、野菜	1.0 ha	ha	水稲、野菜	1.6 ha	ha	うすだいだい	
9	利用者		水稲	1.5 ha	ha	水稲	1.4 ha	ha	青	
10	利用者		水稲	ha	ha	水稲	1.3 ha	ha	水色	
11	到達		水稲	1.2 ha	ha	水稲	1.3 ha	ha	白	
12	利用者		果樹	0.6 ha	ha	果樹	1.1 ha	ha	ふちどり赤	
13	利用者		山菜	0.8 ha	ha	山菜	0.9 ha	ha	ふちどり水色	
14	利用者		飼料作物	1.4 ha	ha	飼料作物	0.8 ha	ha	ふちどり黄緑	
15	利用者		果樹	ha	ha	果樹	0.6 ha	ha	ふちどりうすだいだい	
16	利用者		山菜	ha	ha	山菜	0.5 ha	ha	ふちどり青	
17	利用者		水稲	2.3 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	ふちどり紫	
18	利用者		水稲、野菜	0.3 ha	ha	水稲、野菜	0.4 ha	ha	ふちどり桃色	
19	利用者		野菜	0.7 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	ふちどりオレンジ	
20	認農		施設野菜、果樹、花	ha	ha	施設野菜、果樹、花	0.2 ha	ha	ふちどり黄色	
21	利用者		水稲	ha	ha	水稲	0.04 ha	ha		
22	認農		酪農	3.9 ha	ha	酪農	0.001 ha	ha		
23	認農		酪農	0.8 ha	ha	酪農	ha	ha		
24	利用者		ぶどう	0.3 ha	ha	ぶどう	0.4 ha	ha	ふちどり緑	
				34.23 ha	ha		46.15 ha	ha		

黄色枠・・・地域計画区域
白枠・・・検討中



Copyright©NTTインフラネット, Maxar Technologies | 国土交通省(市街化区域)

